



\*この内容はSWIFTが2017年10月13日に発表したプレスリリース

の翻訳です。.....

.....

## SWIFT、ブロックチェーンの機能検証でグローバル規模の流動性最適化の可能性示す

.....

SWIFT は、gpi への取り組みの一環で新たな報告を発表しました。機能検証の結果、預け勘定照査作業のリアルタイム化が確認されています。

ブリュッセル 2017年10月13日 - 国際銀行間通信協会 (SWIFT) はリアルタイム預け勘定照査に関する機能検証の中間報告を発表しました。クロスボーダー送金の新スタンダードである SWIFT gpi (グローバルペイメントイニシアティブ) サービス ([SWIFT gpi service](#)) の一環として、33のグローバル・トランザクション銀行が参加したこの機能検証には、SWIFT が開発した分散型台帳技術 (DLT) を利用した環境 (サンドボックス) が利用されています。

この [DLTによる機能検証](#) では、ノストロ口座の照査作業の効率化とリアルタイム化、コスト削減とオペレーションリスク削減への影響を報告しています。この報告書はこれまでの機能検証の技術的目的、既に確認された業務メリットおよび業界全体が採用するために今後鍵となる課題を概括しています。

現在のコルレス銀行モデルでは海外預け口座をモニターするために業後ステートメントと個別貸借記録を確認する必要がありますが、この保守管理的業務が外国送金の主要なコスト要因になっています。

今検証の初期結果によると、SWIFT が開発した DLT ベースのアプリケーションが提供する業務機能と豊富なデータにより、リアルタイムでの流動性管理や照査が可能になるということが明らかになりました。預け勘定の名義人および口座管理をする金融機関の両者にとってその時点での利用可能な残高および将来の流動性の把握が可能になるため、ISO20022による拡張情報と相まって、決済照合と照会対応調査の効率化が実現できます。

SWIFT バンキングマーケット兼 gpi の部長 Wim Raymaekers のコメント：「DLT を利用した機能検証は、外国送金の追跡機能や早期到着と透明性の確保を目的とした SWIFT gpi のミッションを支え、効率性を高めることにつながります。」

SWIFT の分散型台帳を利用した環境を通じ、分散型台帳技術活用の進捗がみられたほか、業界全体での採用に当たって今後解決すべき点も明らかにされました。特に自動化の進み具合が多様な環境や、過去の開発資産を継続使用しているなかで、どのようにして提供価値を高めるかという課題や業務システムとの連動・既存手順との併存をどうするかという課題が明らかになっています。

SWIFT ラボ研究開発部長 Damien Vanderveken のコメント：「機能検証の初期結果では良い活用事例が示されました。大きな進歩を続けていますが、ブロックチェーン技術は発展途上であり、重要な業務システムに拡張されるにはまだ時間がかかると思われます。」

---

\* サンドボックス (Sandbox) : Java によるプログラム開発に関連して設けられた制約などある程度隔離されたシステム環境を呼ぶ場合に使われる。子供を砂場 (サンドボックス) の外で遊ばせないようにすることに似て、アプレットの悪さを防ぐために設けられた制約を設けた環境や実験的環境。

[SWIFTによるDLTを利用した機能検証](#)は2017年11月まで継続され12月に最終結果が発表されます。

英文機能検証レポートは[こちら](#)に請求してください。

SWIFT gpi を詳しく知るには[こちら](#)をクリックしてください。

-####-

## プレスの方向け

外国送金の顧客による期待と規制当局の要請の高まりにより、銀行には競争力を維持しつつコスト削減と業務効率向上が求められています。日中の入出金の見える化と予想可能性が十分でないためリアルタイムによる流動性管理が求められています。リアルタイムの預け勘定照査も、その一環として全ての口座の動きのリアルタイムでの照合と問題発見が求められています。

### SWIFT機能検証中間報告について

SWIFT はその gpi 戦略の一環で世界中の 33 の上位行と共に分散型台帳によるリアルタイムでの預け勘定の見える化に関する機能検証を実施しました。この取り組みは 2017 年 1 月に開始され年末まで実施予定です。

この機能検証の中間報告は、業務的技術的目標、共同開発による分散型台帳によるソリューションとテスト計画について情報提供をしています。6 つの銀行による業務および技術テストの概要も示しています。

27 銀行からなる[バリデーショングループ](#)はその SWIFT が開発したアプリケーションの追加的テストを開始しました。この報告はこれら 2 つのグループのテスト結果を取りまとめて最終的な結論の提示を予定しています。

### SWIFTについて

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、金融犯罪コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。SWIFT は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT は資金を預かったり、口座を管理することはありません。SWIFT を活用することで、標準化された安全、かつ確実な金融メッセージングの実現が可能です。SWIFT は信頼できるサービスプロバイダーとして、国内外の円滑な金融取引を促進し、グローバルな商取引をサポートします。信頼されるプロバイダーとしてサイバーリスクの軽減、コスト削減、リスク軽減、業務効率化実現の手法、最高品質の業務を絶え間なく追求しています。SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは [www.swift.com](http://www.swift.com) をご覧いただくか [Twitter: @swiftcommunity](https://twitter.com/swiftcommunity) および [LinkedIn: SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。

お問い合わせ

**Chatsworth Communications**

Tel: +44 (0)20 74409780

[swift@chatsworthcommunications.com](mailto:swift@chatsworthcommunications.com)